

【改善のポイント】

学校運営(質問1～3)

多くの方に、肯定的な回答をいただきました。「(3)教職員は、PTAや地域の活動に協力的か」についても、約80%は肯定的な回答でしたが、「判断できない」との回答が多数ありました。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で、PTAや地域行事が中止になったり、制限のある中での開催となったりしました。今後も、教職員一同、PTAや地域の方々と協力して、子供たちのためにできることを行い、活動を盛り上げていきたいと考えています。

学習指導・生活指導(質問4～10)

学習指導・生活指導では、肯定的な回答を多くいただきました。その中で、「(4)子供たちは、『国際科』の授業を楽しく受けているか」についての質問では、「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」の回答が合わせて約20%ありました。港区の公立小学校では、実践的コミュニケーション能力の基礎を培うことを目指し、外国人講師NTと協力して授業を展開しています。アンケート結果を鑑みて、どの子も英語への興味・関心をもって楽しく学習ができるように、「コミュニケーションを取りたい」と思える目的意識をもたせる工夫をしたり、板書による視覚化やゲームを取り入れた活動を取り入れたりしていきます。また、学習の定着を図れるよう、工夫した国際科の授業を推進していきます。

また、「(5)学校は地域人材の活用に積極的に取り組んでいるか」についての質問では、「判断できない」という回答が多くありました。本校では、特有の地域教材を生かしたり地域の方々に協力していただいたりして「地域の中の学校」という地域とのつながりを大切に学習を展開しています。今年度はリーディングツリーが再開したり、ゲストティーチャーを招いたりできるようになり、地域との交流の中に深い学びを実現できています。またGIGAスクール構想によるICT教育という新たな教育の形が進んでいるので、新たにICTを活用した地域教材や人材の開発・活用も進めていきます。

「(9) いじめは絶対に許さないという風土の形成、いじめの未然防止や早期発見・解決に取り組んでいるか」についての質問でも、「判断できない」という回答が多くありました。毎月の学校生活アンケートをもとに、児童への聞き取り調査を行い、問題となっていることは、職員間で情報を共有し、学校組織で対応できるようにしています。児童の小さな不安に寄り添い、いじめの未然防止や早期発見・解決を目指しています。引き続き、児童が「今日も学校が楽しかった」と思える学校生活が送れるよう、教職員が一丸となって児童を見守っています。また、昨年度の本校研究テーマの人権教育も引き続き推進し、授業や生活の様々な場面でいじめや差別等を取り上げ、それらを許さないという心を育てていきます。

特別の教科 道徳(質問 11)

「(11)学校は、道徳の授業や日頃の指導を通して、子供たちに道徳的な心を育てているか」については、概ね肯定的な回答を多くいただきました。「判断できない」という回答が約6%ありました。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、保護者や地域の方々に道徳授業地区公開講座や学校公開で授業を参観していただける機会が減少したことも原因の一つとして考えられます。学校だよりや学校ブログ等で授業の情報を発信したり、長期休業中に学習した道徳ノートを持ち帰ったりするなど、取り組んだことをご家庭と共有できるようにしていきます。

学校行事(質問12～14)

概ね肯定的な回答を多くいただきました。新型コロナウイルス感染症の影響で今年度は始業式、終業式などの儀式的な行事はオンラインで行いましたが、各教室で真剣に取り組む様子が見られました。また、学習発表会やスポーツフェスティバルでは、コロナ禍で練習等に制限がありましたが、その中でも意欲的に活動する様子が見られました。ご家庭におかれましては、子供たちの体調管理や当日までの励ましなど、たくさんのご支援をいただき、ありがとうございました。

新たな学校生活様式が継続されている中で、今までのような学校行事を実施することはまだ難しいですが、東京都、港区の方針、他校の情報などを収集しながら、可能な範囲で実施できるように努めてまいります。

安心安全(質問15～17)

安心安全の質問15～17では、概ね肯定的な回答を多くいただきました。ただ、「(16)学校は、警察署などの関係機関、保護者、地域と連携して子供たちの安全を守ろうとしているか」については、若干、「十分ではない」という回答がありました。学校では警察の方を招いての交通安全教室、不審者訓練などを実施しています。また、年に2回の「通学路点検」で教職員はもちろん、PTA や区の職員の担当者と通学路の安全について点検し、問題点については改善の申請を行っています。また、毎月の避難訓練や高学年対象の避難所運営教室では、警察や地域の方に子供たちへ直接指導していただく機会を設けています。このような活動を継続するとともに、活動の内容を学校だよりや学校ブログ等で情報を発信していきたいと思います。

また、自由意見で「岬門側の警備に不安がある」という意見をいただいたことから、1月12日より、朝は管理職が岬門に立つことや校門を8:20 に施錠することを実施しています。

その他(質問 20～22)・家庭(23～)

「(21)朝読書や読み聞かせなどの教育活動を通して、子供たちに読書の習慣が育っているか」「(25)家庭で、子供に本を読む習慣が身に付くような声かけや取り組みをしているか」の質問では、肯定的な回答が80%を切る結果となりました。読書活動は子供たちにとって、知識や情報を得るだけではなく、「読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである」(文科省「子どもの読書活動推進の取組～子どもの読書活動の推進について～」より)と示されています。学校の教育活動の時間だけで習慣化を図るのではなく、ご家庭でも積極的に読書の時間を取り入れられるよう協力していただき、子供たちが読書習慣を身に付け、国語力を向上させたり、楽しみの基としていけたりするよう、工夫して取り組んでいく必要があると考えます。

全体を通して

感染症の状況に翻弄されています。授業参観等の学校行事の内容変更や、延期・再延期・中止となり、保護者の皆様には多大なご迷惑をおかけしました。

しかし、保護者の皆様のご協力のおかげで教育活動を継続することができています。今後も子供たちの安全を最優先に考えていきます。また、子供たちの心の安定も大事に考えています。ご家庭で気がかりに思われることは、ぜひご連絡ください。子供たちにとって学校が安心できる場所になるよう、誠心誠意対応していきます。

保護者の皆様からの貴重なご意見や温かい励ましのお言葉は、今後の学校運営に向けての力となりました。学校の教育活動に生かしていきます。ありがとうございました。今後どうぞよろしくお願いいたします。